

【講演タイトル】

認知症になっても輝けるまちづくりの実践

～認知症の人が支えられる側から、まちづくりの主人公へ～

【講師】

森 安美 (もりやすみ)氏

【肩書き】

ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会 総合プロデューサー

主任介護支援専門員、社会福祉士

【経歴】

1993年から介護関連事業の民間企業に勤務し、2000年に介護支援専門員の資格を取得。それ以降はケアマネジャーとして高齢者支援に従事。認知症の人との関わりを通じて地域福祉に関心が高まり、学業に専念するため2014年に退職。その後、大阪府立大学大学院にて地域福祉の研究を行い、同時に門真市を中心に地域活動を実践。

2016年、介護事業所の仲間と共に「RUN 伴+門真」を初開催。

2017年、高齢者の学びと集いの場を目的とした「みんなのかどま大学」を創出。

2018年には認知症の人が輝ける場を創出する「ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会」を発足させた。

現在は、ゆめ伴プロジェクトの総合プロデューサーとして多様な活動を展開し、2021年には日本政府が主催する第5回ジャパンSDGsアワードでゆめ伴プロジェクトを「特別賞」に導いた。

大阪・関西万博に向けた取り組みとして、TEAM EXPO 2025 折り鶴 JAPAN 実行委員会を発足させ、認知症になっても輝ける社会を全国に、そして世界へと広げている。